

# はな 華

2018年1月15日 第56号

編集 社会福祉法人 三幸福社会 特別養護老人ホーム 清華苑 広報委員会

発行責任者：施設長 池田昌弘

〒674-0051 明石市大久保町大窪3104番1 TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 <http://seikaen.jp>

NO,56



お屠蘇祝い

新年を迎え、新入職員である私と  
三好さんは紅白の晴れ着を着て、  
お屠蘇祝いを担当させて頂きました。  
偶然にも二人共戌年生まれの  
年女であり、縁起が良いとご利用  
者や職員の方に喜んで頂けました。  
ケアハウスと特養のご利用者  
一人ひとりと新年の挨拶を交わし  
お屠蘇を配ることで、新しい年を  
気持ちの良いスタートを切ること  
が出来たと思います。

盆に口を付けた瞬間、久しぶりの  
日本酒に歓喜され思わず笑みがこ  
ぼれる方。晴れ着姿の私を見て、  
「若い頃、母の着物を借りて自分  
で着付けて着ていたんだよ。」と  
昔の自分を思い出される方。お屠  
蘇祝いを通して沢山の笑顔を見る  
事が出来て非常に嬉しかったです。  
また、お屠蘇祝いやお節料理によっ  
て日本のお正月文化を大事に  
していると感じました。

今年も沢山の笑顔で溢れるよう  
に、介護職員としてより一層努力  
しようと心に決めました。



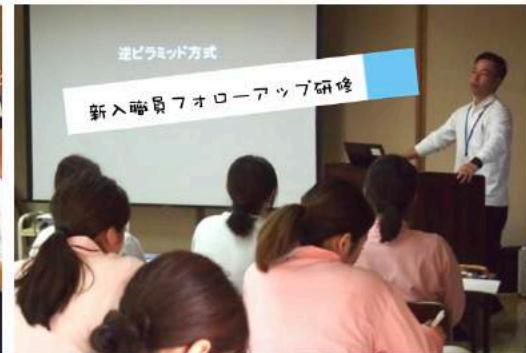
## 「入社して初めての忘年会」

私は、今回三幸福祉会の法人合同忘年会で新人による余興を行うということで同期をまとめていくリーダーに選ばれました。自分も含めて特養・老健の同期全員が勤務もバラバラの中集まって練習を行うことがなかなか出来ず、出し物構成などの打ち合わせも難しい状況でした。ですが、同期のみんなが助言やサポートをしてくれたおかげでなんとか形にすることができました。本番では、会場全体の熱気に圧倒されながらもここまで

来たらやるしかない決心がつきました。いざ舞台へ上がると先輩職員の皆様がとても盛り上げてくださったおかげで緊張もほぐれ終わってみればとても楽しい忘年会だったと感じました。そして、同期職員とのつながりも深まりこれからも団結して仕事に取り組みたいと思いました。

(介護員 竹内崇)





**SEIKAEN**

# STAFF PHOTO

今回は、法人合同忘年会の様子  
や特別養護老人ホーム清華苑で  
働くスタッフの姿をフォーカス  
して写真を特集しました。

活き活きと働くたくさんのスタ  
ッフのスマイルをご覧下さい！

## 「清華苑の新人研修」

特養では、毎月第2木曜日に新人ミニ研修というものが行われています。この研修では新入職員を対象に、介護現場で必要になる基礎となる知識や技術を先輩職員から学ぶ研修になっています。「接遇・マナーについて」「食事介助について」「感染症対策について」など、研修テーマも様々です。スライドを使用しての講義に加えて、実技・実演で研修テーマについて学びを深めています。私自身も昨年1年間研修を受けさせて頂きました。研修での学びというものは、働く上で必ず活きてくるものばかりだと感じています。今は新入職員の皆さんを見守る立場となりましたが、これからも学びの手助けを行っていけたらと思っています。

(生活相談員 阿部直樹)



## 「クリスマス会」

今年のクリスマス会はハーモニカの演奏、職員の出し物、プレゼント配りという構成でした。ハーモニカの演奏では、普段口数の少ないご利用者のしっかりとした歌声を聞くことができました。ご利用者の曲のリクエストにも応えて下さり、音楽が好きなご利用者にとって素晴らしい時間になったと思います。

職員の出し物では、サプライズで本番の途中にダンスを踊るという内容が知らされ驚きましたが、ご利用者は慌てながらも必死にダンスを踊る職員を見て楽しんで頂けたのではないかでしょうか。

クリスマスプレゼントとしてマフラーもしくは靴下が贈られました。プレゼントを使って快適に過ごして頂けると嬉しいです。

ご利用者だけでなく、ご利用者の反応を見て職員も楽しむことができたクリスマス会でした。

(介護員 大久保健太)



## 「美味しいお鍋で満腹！」

今回私自身初めて鍋の会に参加させていただきました。最初はいつもと違う業務の流れの為少し不安がありました。ですが、いざ始まると、ご利用者が鍋を目の前にして笑顔になられているのを見ると、不安もなくなりました。私は全介助の方の対応を行っていましたが、鍋を囲んでいる席を見ると「美味しい、おいしい。」「3杯もお替りした。」と笑顔で召し上がる姿を見てうれしく感じました。また、普段は飲むことが出来ないお酒を飲むことができ、とても喜んでおられました。普段の食事とはまた違ったご利用者の良い表情が見れて良かったです。

(介護員 明松葵)

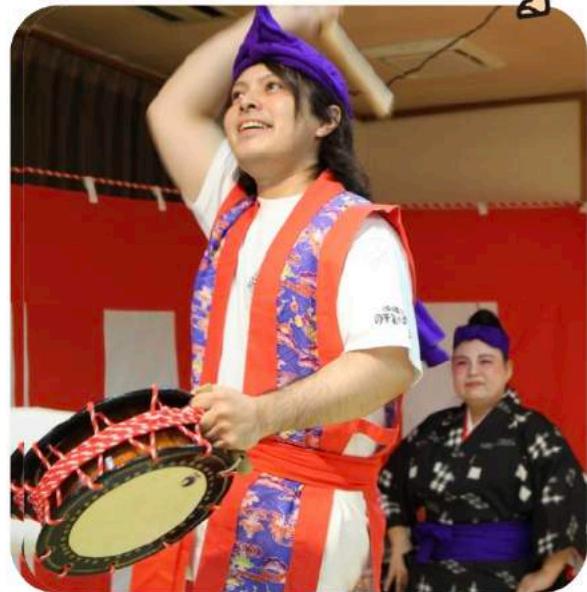


# 特別養護老人ホーム 清華苑

## 「敬老祭♪」

敬老祭では、沖縄舞踊を見せて頂き、ご利用者と共に職員も楽しませて頂きました。子ども達がお化粧をして踊っている姿を見てご利用の方も「可愛いなあ。」「元気いっぱいやなあ。」と、とても喜んでおられました。身を乗り出して楽しんでおられる方や小さな子どもが頑張っている姿に感動し、涙を流されている方もおられ、全体がとても暖かい雰囲気になっていました。ご利用者から「子どもが頑張っているから私たちも頑張らないといけないね！」と言われ、私たち職員もご利用者と日々頑張って行こうと思いました。

(介護員 川上菜々子)





## D 清華苑デイサービスセンター 「年末お楽しみ会」

一年の締めくくりイベントとして、デイサービスでは3日間年末お楽しみ会を開催しました。

1日目は、クリスマスソングをバックミュージックに、ご利用者お一人お一人がブチクリスマツリーケーキ作りに挑戦され、2日目以降はクリスマスをテーマにしたゲームやbingoで盛り上がり、最後にはサンタも登場。サンタからのプレゼントには童心にかえり大はしゃぎされていました。ご利用者の楽しさや笑顔が、私たち職員にとって一番のクリスマスプレゼントとなりました。

今年もデイサービスでは、ご利用者の笑顔がたくさん見られる行事をどんどん企画していきたいと思います。

(介護員 西尾聖子)



## C ケアハウス 清華苑シルバーライフ 「秋のランチ&アートツアー」

秋の外出行事としてランチ&アートツアーを企画しました。行き先は、皆さんのリクエストにお応えして、ホテルオークラ神戸の「鉄板焼きさざんか」です。目の前で熱々のお肉を焼いて頂きました。シェフの手さばきがとてもスムーズで感動！ジューっていう音聞こえませんか？どれもこれも美味しいと大満足★ホテルオークラ神戸でランチを堪能した後は、港都KOBE芸術祭に参加しました！なんと、アート作品が港のあちこちに展示されており、船からそれらを見ることが出来ます。お天気は曇り空で少し残念でしたが、美味しいランチと船の旅で皆さんとてもリフレッシュでしたと喜んで頂けました！

(生活相談員 村上卓也)





11月に入所したSさんは68歳、知的障害はありますが、大きな基礎疾患もなくこちらでの生活は長くなることが予想されるご利用者のひとりです。意思疎通も可能で、先日会いに来てくれた姪御さんに頂いたという5000円を持ってスタッフルームへきました。「ワシな、三角のチョコレートが掛かったケーキが好きなんや。あと、ボウズのコーヒーを2本買ってきて欲しいんや。」きっと、シルベーヌとボスの缶コーヒーのことでしょう。ちょうど買い物に出掛けた前だったので「15時頃に戻りますね。」と伝えると「おやつの時間には間に合いそうですね。」とSさんは言いました。

そしてちょうど15時に3階へ上がると「買うてきてくれたか？」と車いすで私の傍へ来て、シルベーヌを見せると「これや、これ。」と嬉しそうな表情をくれたのもつかの間「…ボウズの缶コーヒーはないの？」と不安そうにされていました。

そこで私が出したのはボスの缶コーヒー3種類です。Sさんは砂糖もミルクも入ったやつと言いましたが、カフェオレとは言っていないのでさて、Sさんが飲みたいボウズの

缶コーヒーはどれなのか…散々店で悩んだ私は、68歳の男性が好みそうな物を3種類買いました。ここでこの3本からご本人に「選んでいただく」ことで嗜好を確認しようと思ったのです。Sさんが選んだのは虹色の缶の「ボウズのコーヒー」でした。一度選んで頂ければ次回からはSさんの好みの物を購入できるのです。そして何より、いろいろお話が出来る今、得た情報は20年後Sさんがターミナル期を迎える頃にとても重要な情報になるのです。20年経った時に今のSさんを知る介護員がどれだけいるでしょうか？こうやって日常生活のなかから得た些細な情報をもれなく記録に残すことが、ご本人の財産になります。そんなケアの積み重ねが出来たらいいな、と思っています。

ちなみにSさん。私のことを見ると「買い物のおばちゃん」と思っているのか、介護員さんの渡した広告を見ては「この198円のカステラ、食べたいなあ。買うてきてえなあ、税込み200円ちょっとやろ？預けた3700円で買えるやろ？」

まだまだたくさんの情報をくれそうな気がします。

(ケアマネージャー 大西絵里子)



私は先日実家に帰りました。母から、お父さんから新聞の切り抜きを預かってるよと言わされました。

不器用な父が私に伝えたかったことを感じ取りました。

特養にはたくさんのご利用者が生活されています。業務の流れは同じでも、ご利用者の様子は、その日によって異なります。ついさつた数分でもご利用者との会話は財産です。ターミナル計画書を作成する時にもきっと役に立つと考えます。

私が先輩職員の姿を見て実施し始めたように、後輩職員にも同じように記録に残す大切さが伝わればいいなと思います。これからも小まめに続けたいです。

話しは大学時代に遡ります。私は一人暮らしをしていたのですが、夕食は毎食ご飯を3合炊いていました。自作のチキン南蛮や豚の角煮、スープで買ったお総菜などをおかずと一緒に一ぱりで食べていました。このことから私は、「痩せの大食い」として名を馳せることとなりました。

しかし、入職してから体質が変化したのか食べれば食べる分だけ肉が付くようになりました。私は「痩せの大食い」から「ただの大食い」になりました。

冷え込みも強くなり季節は冬に近づいてきました。イルミネーションやクリスマスといったイベントに便乗し、一冬の思い出を作るべく自分磨きに精進していきたいと思っています。



生活相談員 阿部

★編集後記★

新年あけましておめでとうございます。  
今回の「はな華」は、忘年会やお屠蘇  
祝いなど盛りだくさんの内容で、新年に  
相応しいおめでたい物になっている  
と思います。原稿を書いて下さった  
方々、ご協力を頂きましてありがとうございました。  
これからも皆様に楽しんで頂けるよう  
な「はな華」にしていきたいと思いま  
す。本年もどうぞよろしくお願ひ致し  
ます。

(広報委員 阿部)



清華苑のインターンシップ受付中

今年からインターンシップの担当を行う事になりました竹井です。インターンシップを受けに来て下さる学生は、初めて介護の現場に来られた方がほとんどであり、「介護の魅力や介護現場での工夫を分かりやすく説明する。」という難しさを毎回、感じながらも参加くださる学生さんに「清華苑に就職したい。」と思ってもらえるきっかけ作りが出来たらなという思いで取り組んでいます。

インターンシップを受講された学生の反応や意見を聞きながら今後のインターンシップをより質の高い講義にしていきたいと思います。また、インターンシップの対応をしていく際に協力してくれた事務所、スタッフルームのサポートも欠かせません。現場で頑張っている介護職員も、忙しい仕事中にもかかわらず協力的な姿勢で助けてくれました。

これから多くの学生と会える事を楽しみにしています。インターンシップ詳細については特設サイトをご覧ください。(介護職員 竹井)

★清華苑のインターンシップ特設サイト★

<http://care-h.wixsite.com/seikaen-internship>